

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：ゆめいろ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：金子 智香子	定員（利用人数）：124 名
所在地：〒230-0001 横浜市鶴見区矢向3-11-48	
TEL：045-573-9582	ホームページ：https://www.yumekoubou.or.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2009年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 夢工房	
職員数	常勤職員：31 名 非常勤職員：12 名
専門職員	（専門職の名称）：名 看護師：1名
	保育士：32名 管理栄養士：4名
	栄養士：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：0歳児室 設備：調理室
	居室：1歳児室 設備：調乳室
	居室：2歳児室 設備：ランチルーム兼ホール
	居室：3歳児室 設備：事務室
	居室：4歳児室 設備：職員休憩室
	居室：5歳児室 設備：相談室
	設備：トイレ
	設備：ロフト 設備：園庭

③理念・基本方針

<理念>

子どもの最善の利益を考慮し、利用者主体を根幹に、行政・地域・保育園の緊密な連携を強化し、地域の子育て支援の核となる。

<保育方針>

子どもは豊かに伸びていく可能性をその内に秘めている。その子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくりだす力の基礎を培う。

<保育目標>

1. 他人の気持ちがわかる子ども（心身の調和のとれた体力作りを目指す）
2. 自分らしく生きる子ども（自ら考え、判断し、行動できる能力を身につける）
3. 感性豊かな子ども（豊かな人間性を育てる）

④施設・事業所の特徴的な取組

<保育姿勢>

●見るもの、聞くものに好奇心を誘発され、人に認められ、誉められ、喜ばれることにより、自分自身が生きている意味を子どもなりに感じたり、愛情をたくさん注がれた「人間」の生きる力の大きさを大切にできる保育を目指します。

●人から守られるだけでなく自立していく過程で、困難なことや悲しいことに立ち向かう勇気と気力を育てていくために、成長過程で問題を解決しようとする自立意欲を助長し、それを実践できる機会を大切に考えられる保育を目指します。

<ゆめいろ保育園の特徴的な取り組み>

1. 乳児クラスの少人数担当制
2. 小グループでの園内研修及び全体での園内研修充実
3. 地域とのかかわりとして、子ども110番の設置
4. 横浜市資源循環局とともにSDGsの一環としておもちゃのリユースに取り組む

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年07月25日（契約日） ～ 2023年03月23日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2017年度）

⑥総評

【ゆめいろ保育園の概要】

●ゆめいろ保育園は、社会福祉法人夢工房（以下、法人という）が、平成21年4月1日に開設した認可保育所です。法人は、「全ての人が健康で快適な日常生活がおくれること」を、将来実現したい願い・理想として、兵庫県を拠点に北海道から沖縄まで25の保育園・認定こども園を持ち、兵庫県には特別養護老人ホーム、ケアハウスを運営する等、福祉サービス事業を幅広く展開しています。

●ゆめいろ保育園は、JR南武線「矢向」駅から徒歩8分程の閑静な住宅地の中にあります。位置的には、川崎市に近いのですが、鶴見川の東側にあり飛び地的に横浜市鶴見区となっています。矢向駅その他、新川崎駅への利便性もあり、新興住宅も増えています。また、矢向駅から徒歩5分程の所に横浜市矢向地区センターがあり、幼児から高齢者まで気軽に利用することができ、子育て環境も充実している地域です。保育園の定員は120名（0歳児～5歳児）、現在124名が在園しています。

●園舎は、鉄筋コンクリート2階建て、シンプルに見えて趣のある造りです。玄関ホールは、開放感に溢れ、入ってすぐ左に事務室、右奥に広いホール（ランチルーム）があり、隣接して厨房があります。保育室は、1階に0歳、1歳児室、2階に2歳～5歳児室があり、木をふんだんに用いられ、木の香りと温もりが気持ちを優しく包みます。2階への階段との狭間には石を敷いた坪庭があり、落ち着いた風情を醸し、2階の天井裏のロフトは子どもたちの秘密基地のようです。園庭は、1階に乳児用、2階に幼児用（一面人工芝）として使用しています。屋上には木で作られた大きな遊具もあり、電車が走る様子も見られます。各保育室にはコーナーごとに遊具が設置され、子どもたちは好きな遊具で、友だちや保育士と楽しく遊んでいます。

◇特長や今後期待される点

【丁寧な保育の実践】

ゆめいろ保育園は、0歳児～2歳児クラスまで、少人数担当制による細やかな保育を実践

しています。子ども一人ひとりの状況を十分に把握し、発達に合わせて遊び・食事を提供し、子どもが一日を気持ち良く過ごせるように努めています。少人数担当制のため、子どもや保護者との信頼関係の構築がスムーズで、保護者からも「安心して預けられる」、「丁寧な対応」等の声が寄せられています。3歳児～5歳児の保育でも一人ひとりの子どもたちに寄り添い、子どもが自ら行動できるように見守り、必要に応じて援助する等、保育目標「自分らしく生きる子ども（自ら考え、判断し、行動できる能力を身につける）」を実践しています。幼児クラスでは、日々の保育活動に加えて、専門講師による「体操」・「太鼓」・「英語」も取り入れています。担任保育士は子どもたちの声に傾聴すると共に、興味・関心を持たせて意欲的に参加できるように、自らも参加して楽しい雰囲気の中で活動しています。また、毎週1回「異年齢保育」を実施し、「おもいやり」、「あこがれ」の気持ちが育まれるように取り組んでいます。保育実践後の検証においては、毎月の「省察」として記録すると共に、保護者にも掲示して知らせ、保育内容の共有化を図っています。今回の保護者アンケートにおいても「子どもの成長がわかる」との意見が多く寄せられ、満足度の高さを確認できます。

【優れた食育活動】

ゆめいろ保育園には、常勤栄養士5名が配置され、それぞれの栄養士が担当クラスを持ち、担任と共に子どもたちの年齢・発達に応じた食育活動を展開しています。保育士が立てた年間指導計画に関連づけて、栄養士で「年間食育指導計画」を立て、計画に基づいて菜園活動や食育、クッキングを行い、子どもたちに食についての興味・関心を深めるように取り組んでいます。また、SDGsの一環として、野菜の皮を有効利用した染色活動、魚の解体ショー等を通して、資源や命の大切さを伝えています。5歳児クラスでは、毎日子どもたちが、3色の食品群に食材を分ける活動を喜んで行っています。その他、旬の野菜調べや図鑑を使って、実際の食材と比較した活動も目を引きます。作品展のコーナーに展示予定の「キノコ調査」では、5種類（エノキ、エリンギ、シメジ、マイタケ、シイタケ）の本数、長さ、かさの大きさ、特徴を子どもたちが実物を検証して記載していました。また、月1回「絵本給食」を設け、絵本の読み聞かせと共に、絵本の中に出てきた食べ物や料理を、給食やおやつで提供しています。目的としては、「実際に食べられる」ワクワク感、親子で絵本を楽しむきっかけ作り、給食やおやつの時間がより楽しいものとなるよう目指しています。保護者からも「食育、クッキングが充実」との意見が寄せられ、満足回答率84%の高い評価を得ています。

【園内研修の充実】

保育の質の向上を目指して、年度ごとに「ゆめいろ保育園 園内研修計画」一覧表を作成し、全職員で園内研修に取り組んでいます。園長・主任を中心に、全職員を5グループに分けてそれぞれのグループで課題を決め、毎月1回実践・検討、結果をまとめて発表し、研修成果につながるようにしています。グループは、職位、経験、人柄を考慮して編成し、意見を言いやすい環境に配慮した構成です。令和3年度は、「遊び」をテーマに、年齢・発達に応じた遊びの実践と検証が4月～3月まで行われ、職員間で共有していました。令和4年度は、「安心できる保育園」を掲げて、いろいろなアプローチ法（連携・責任感・雰囲気・危機管理・伝達・理解）を考えてランダムに意見を述べ合い、共通項をまとめて学びとしていました。その中で、「意識することの大切さ」、「何事にも興味を持って臨む」、「振り返りを生かす」、「見通しを持つ」等、日頃からコミュニケーションを図り、相手を理解することで安心感を与えるということが、一本のリンゴの木をモチーフに描かれ、リンゴの良い実をつけると表現されていました。園内研修を通して職員間の連携もアップし、明るく活気ある職員集団作りになり、保育の質の向上へ確実につなげています。

【人材確保・育成への取り組みについて】

ゆめいろ保育園は、現状、常勤職員の平均年齢が30歳、平均在職期間が4年であり、経営上の課題として、「人材確保・人材育成」が挙げられています。結婚や出産を契機に離職、地方出身の保育士も多く、10年目で横浜市からの家賃補助が無くなることも、きっかけの一つとして挙げられます。一次期、離職率が高い状態でしたが、ここ2年間は安定してきています。新型コロナウイルス感染症流行（以下、コロナ禍という）が続き、養成校からの実習生も減り、保育士の確保が難しい状況です。法人でチームを作り、人材確保に向けて努力されていることもあり、今後の取り組みに期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：社会福祉法人 夢工房 ゆめいろ保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

第三者評価を受けるにあたり、園全体で取り組みを行えたことにより、改めて法人の経営について、また保育園の運営について職員全体で一緒に確認することが出来、とても良い機会となりました。

細かい部分も全体で確認することで理解が深まり、今後活かしていけると感じています。日常の保育についても、一人ひとりが自身の保育と照らし合わせながら見直すことで、今後の保育の質向上、職員の成長にも繋がると思います。

保護者アンケートについても、職員一同で確認し、保育の見直しや保護者への伝え方、伝える内容についても工夫し考え、より良い保育を提供できるように、そして子どもたちにとっても、保護者にとってもまた、職員にとっても安全で安心な保育園作りを目指していきます。

今後も子どもたちの未来のために、職員一同、力を合わせていきたいと思っています。

<評価後取り組んだ事として>

1. 理念・保育方針・目標を保護者にもわかりやすく伝えることができるようにする。
2. 園全体で保育の質向上に努めるよう、自身の保育の見直しをし、今後の保育をより良いものとするよう自己研鑽に努めていく。
3. 安全・安心に必要なことを再確認し、保護者にも伝えていく。また、日々の活動内容についてもっと広く、詳しく発信することでより安心・安全な保育運営となると思い、そのための努力を職員一同で協力し、行っていきたいと思っています。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり